

高津区



のこ 残りまちづくりもあるよ！いきいきしているね、二ヶ領用水！ 18ページを 見てみよう

まちづくり事例だよ！

二ヶ領用水は、江戸時代の川崎領と稲毛領にまたがって流れていたことに由来し、川崎市のほぼ全域を流れる神奈川県内で最も古い人工の用水のひとつです。

かつては多くの水田をうるおし、飲み水や工業用水としても利用され、川崎のまちの発展を支えてきましたが、都市化や近代化が進む中で消えてしまった部分はすくなくありません。

しかし、用水に沿って続く水と緑の空間は、みんなのいこいの場や災害にも強いまちをつくる上でとても大切です。

そこで市役所の人みんなの意見を聞きながら、二ヶ領用水を活かして、単なる保存や復元ではなく、新しい水との交流が生まれるようなまちづくりをしようと計画し、実行しています。

用水の利用がなくなり工場・生活排水で汚れていたものを子どもの遊び場やいこいの場にしたい例もあります。



えんとうぶんずい 円筒分水

たまく しゆくがわら 多摩区の宿河原



みなでつくれた二ヶ領用水環境マップ

はっけん はっしん そうぞう ちから
発見！発信！創造の力！まちなかでものづくり

13ページを
 見
 見てみよう

高津区の下野毛という地域には、昔からたくさんの小さな工場が建ち並んでいて、いろいろな品物が生産されています。工場は小さくても、素晴らしい技術力を持った工場がたくさんあって、みんなで工夫をして協力しながらものづくりをしています。川崎には他にもこのように工場が集まっている場所があり、私たちの暮らしを支えています。



まちなかの中に、いろいろな工場があるよ



下野毛にはたくさんの工場が集まっているね

ものづくり共和国
 下野毛では地域の工場の若い人たちが集まって、自分たちで色々な情報交換をするために「ものづくり共和国」をつくっています。インターネットを使いながら、いろいろなアイデアを出し合ったり、情報交換をしています。小学校の子どもたちが工場の見学にきて、いろいろなものづくりの体験をしていったこともあります。

えきまえ じてんしゃ おやこ かいけつ ほうちじてんしゃ
駅前が自転車でいっぱい！親子で解決、放置自転車バスターズ！

26ページを
 見
 見てみよう

まちづくりに関心のある高津区の小学生から高校生までの子どもたちと大人たちが、溝口駅周辺の自転車の問題をテーマに、まちづくりについて考えました。題して「自転車バスターズ！」～子どもと親のまちづくりへの共同参加～行ったのは、放置自転車の現地調査、自転車に乗っている人、お店、鉄道関係、消防士の人などへの聞き取り調査、駐輪場の使いやすさのチェック、車椅子に乗ってみたいり、お年寄りになったようになる器具をつけたり、まちを歩いてみるのチェック、放置自転車に注意を書いたカードを付けるなどです。最後に報告会も行いました。放置自転車という身近な問題をきっかけに、未来を担う子どもと親の世代が、まちの実態を見て、まちを育てる力を身につけるといいうのも大きなねらいのひとつでした。



げんちちょうさ けっか ほうこく
 現地調査の結果を報告しているところ



できあがった報告書から

まちづくり事例だよ！